

國學院短期大学と北海道・滝川市とのコミュニケーション誌

北海道

CATY

キャティ

No.11

2007・SPRING

● 文学研究・「生れ出づる悩み」 ● OB・OGインタビュー ● CLUB CATY TOKYO ほか



有島武郎作「有珠無名谷の煙」(北海道立文学館所蔵)

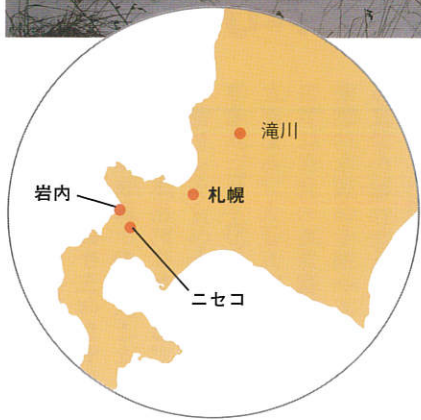


～地域との共生、社会に学ぶ～

北海道・滝川市

國學院短期大学

大正七年、『生れ出づる悩み』という小説が発表されました。
 作者有島武郎は、実在した北海道の画家木田金次郎を題材にし、
 この物語を創作しました。
 「私」という語り手は有島武郎本人で、「君」と呼ばれる青年木本
 は木田金次郎をモデルにしています。
 木田金次郎の前半生の絵は1954年に起こった岩内大火でほとん
 ど焼失したといわれていましたが、今年に入り未公開の絵が2点発
 見され、その価値が見直されるきっかけになりました。
 今回は小説『生れ出づる悩み』を軸に、北海道を描き続けた木田
 金次郎と有島武郎を探っていきます。



『生まれ出づる悩み』あらすじ
 「私」が「君」に初めて出会
 ったのは「私」が札幌を流れる
 豊平川の右岸に建つ家に住んで
 いるときだった。ある日の午後、
 どこか病弱そうに見える少年が
 「私」のもとを訪ねてくる。そ
 れが「君」であった。「君」は、
 抱えきれない程の油絵や水彩画
 を持ち込み、ぶつきらぼうに
 「自分の描いた画（え）をみて
 もらいたい」と言い出し「私」
 の前に置いた。「私」は画を見

てすぐに不思議な力に襲われ、
 喜ばしい驚きを感じる。「私」
 はすっかり「君」に心を奪われ
 てしまったのだ。
 しかしそれから「君」からの
 手紙が一度か二度きたり消息
 が途絶えてしまう。十年後の十
 月。「君」から「私」に小包が
 届く。そこには手垢で汚れきつ
 た手製のスケッチ帖と、今まで
 画を描くことができなかった事
 実が書かれた手紙があった。事
 情により東京にいた「私」はそ
 れをきっかけに急いで北海道に
 もどり、「私」と「君」は農場
 で再会を果たす。十年前、どこ
 か病弱そうにみえた「君」はす
 っかりたくましく、健康そのも
 のにみえた。見違えるほどに変
 貌した「君」の姿に最初は戸惑
 った「私」だが、二人は久しぶ
 りの会話をとても楽しんだ。
 「君」は、岩内町の漁師の子
 どもとして生まれた。一時は賑
 やかであった岩内港。しかし次
 第にさびれていき、それにつれ



現在の岩内（いわない）港

て「君」の一家にも生活の苦し
 さが加えられて来る。画を描く
 ことへの才能と熱意を持ち合わ
 せた「君」が、一年中北海の荒
 浪や激しい気候と戦う漁夫にな
 ることを強いられ、描きたくと
 描くことのできない境遇に陥
 ってしまう。
 労働をしなければいけない現
 実と画家になりたいという理想
 の狭間で葛藤を続ける「君」を
 見守り続けながら、「私」は
 「君」に思いを巡らす。

文学研究 ・ 『生れ出づる悩み』



有島武郎作 「有珠無名谷の煙」
 木田と有島の運命的な出会いのきっかけになった「たそがれの海」に近い作品。
 残念ながらその絵は、戦災で失われたと伝えられる。（北海道立文学館所蔵）

国学院短期大学と北海道・滝川市とのコミュニケーション誌
北海道 CATY
 キャティ

CONTENTS:

文学研究・『生れ出づる悩み』	3
中空知温泉巡り 5 新ないえ温泉 ホテル北乃湯	9
先輩に聞け！OB・OGインタビュー第2弾	10
新十津川町総合健康福祉センター「ゆめりあ」	14
滝川市が誇る黒柳 朝	16
平成18年度 国文学科卒業論文・卒業創作発表会	18
第16回 コミュニケーション学科研究発表会	19
国学院短期大学 開学25周年	20
2006年 第4回 国学院短期大学作文コンテスト受賞式	21
北海道が生んだ文学	22
がんばれ滝川市民 2！～躍進滝川太鼓保存会を知ろう～	24
CLUB CATY TOKYO	
歴史と伝統ある図書館が生まれ変わるとき（国学院大学図書館紹介）	25
CCTレポート	
第1回 CLUB CATY TOKYO 就活生応援セミナー	30
～2007年3月6日開催 国学院大学1号館1206教室にて～	

北海道CATY（キャティ）について

CAmpusとciTYからCATYの名前が生まれました。北海道CATYは国学院短期大学と滝川市の相互理解と交流促進をさらに図る目的で発行するコミュニケーション誌として、その役割を担うことになりました。本誌は国学院短期大学の学生が中心となり編集制作をし、年2回発行（3月・11月）を予定しています。

Club Caty Tokyo (CCT) とは

北海道・滝川市 国学院短期大学から国学院大学に編入し、渋谷キャンパスで大学生活を送っている学生のグループ活動の一つです。国学院大學生の情報を国学院短期大學生に伝えることと、国学院短期大学を国学院大學生により深く知ってもらうための“きっかけ”になればとスタートしました。

木田金次郎



所蔵 木田金次郎美術館

明治二十六年岩内に生まれる。大正七年に大阪毎日新聞と東京日日新聞に掲載された有島武郎『生れ出づる悩み』の主人公のモデルとなる。その後タッチや画風を変えながら、生涯にわたり故郷岩内の絵を描き続けた。

木田金次郎が絵画への関心をもち始めたのは小学校の頃です。もともと感受性の強かった木田でしたが、絵に強く興味をひかれたのは、父の魚場で働く漁夫が描いた日本画に心うたれたのがきっかけでした。当時は木田の家庭も裕福で、彼も趣味で絵を描くようになります。有島武郎と出会う直前の十七歳頃には、雑誌「白樺」が主催した

絵画展覧会で紹介された西洋の絵に多くの影響を受けました。しかし家業不振のため岩内に帰り、漁業に従事せざるを得なくなったのです。一転して労働者の立場になった木田は、その生活の苦しさから、現実と理想の間で苦悩します。しかし、仕事の合間にも地道に絵の勉強を続けていた彼は、大正六年頃に再び有島に描きためていたスケッチを送り、有島と劇的な再会を果たします。翌大正七年に有島が『生れ出づる悩み』を新聞に発表すると、小説の主人公として知られる様になります。漁業の傍ら絵を描き続けていた木田が、三十歳の時に有島の死を知り、この頃から漁業を捨てて画業に専念する決心を固めます。そして昭和二十八年、六十歳で「木田金次郎個人展第一回」を開催するにいたりました。これを機に有島の小説のモデルとしてではなく、絵を評価してもらえるようになった木田ですがその矢先、翌年の岩内大火で油絵、デザインを含め千五百から千六百点が焼失してしまいます。その後画風が激しさを増し、タッチや色彩の自由さというオリジナリティーを生み出した木田は同年十一月北海道文化賞を受

賞。数々の個展を開催しましたが、昭和三十七年の十二月に脳出血のため世を去りました。一方、故郷岩内では生涯描き続けた木田を慕い、手ほどきを受けた青年たちがいました。その一人、坪内六郎は滝川文化奨励賞を受賞し、滝川市文化連盟会長にもなっています。木田は岩内への思いをこう語っています。「これほどにも私を郷土と郷土を描く仕事に結びつけたものはなんだったのだろう。それは言うまでもなく有島武郎氏とのめぐりあいだった。『生れ出づる悩み』に描かれた通りの有島氏との交流が、当時の私に、世に隠れたひたむきな画家として生きる道を決めさせたのだった」と。

町民の絵画への関心は木田亡き後も受け継がれています。岩内には三館の美術館が建てられ、まさに「絵の町」というのにふさわしいほど、絵の多い町となっています。

※資料提供 木田金次郎美術館

昭和37年	昭和29年	昭和27年	昭和25年	昭和17年	大正12年	大正8年	大正6年	明治43年	明治42年	明治41年	明治37年	明治33年	明治26年
12月15日、脳出血のため永眠	11月、北海道文化賞受賞	岩内大火で、油彩・デッサンあわせて約1500点、1600点を焼失。	この頃から生活に安定のきざしが見えてくる。	4月8日、山田フミ（後に文子）と結婚。	11月、岩内町文化賞受賞	11月、有島農場で有島と7年ぶりの再会。有島主催で、木田金次郎習作展覧会を東京で開く	10月末、有島に手紙と2冊のスケッチブックを送る。	有島の家を偶然貸付け、訪問する	岩内に戻るも、家業不振により漁業に従事	岩内尋常高等小学校卒業	岩内尋常高等小学校卒業	岩内尋常高等小学校卒業	木田金次郎誕生。6人兄弟の次男として岩内に生まれる。
69歳	61歳	59歳	57歳	35歳	30歳	26歳	25歳	17歳	16歳	15歳	11歳	7歳	0歳

有島武郎



所蔵 北海道大学付属図書館

明治十一年東京生まれ。札幌農学校卒業後、三年間アメリカに留学。明治四十三年創刊された雑誌「白樺」の同人となり文学活動を本格的に始める。主な作品に『カインの末裔』『小さき者へ』『生れ出づる悩み』などがある。大正八年には近代的自我に目覚めた急進的な女性の悲劇的な運命を描いたリアリズム文学の傑作である『或る女』を発表した。

裕福な家で生まれ、教育熱心な父の意向で幼い頃から論語、英語などを学んでいた有島武郎は学習院に通っていた頃も皇太子の御学友に選ばれるほど品行方正で優秀な生徒でした。そのうち札幌農学校に入学し親友の影響でキリスト教を知った有島は、人道的な博愛主義を持ち社会への意識に目覚めます。さらにホイットマンや、ゴーリキーらの自己の自由への渴望を謳う近代文学に触れ、文学への興味を持つようになります。また無政府主義のクロポトキンを読し、徐々に社会主義的立場に近づいてきます。大正五年には妻と父が亡くなったことをきっかけに本格的な創作活動に入り作品を次々と発表。三年間で第

一級の小説家という地位までのほりつめ有名になった有島武郎の特長は、自我の確立を社会のあり方とからめて描き出したところにあります。そして大正十一年個人雑誌「泉」を発刊し、他紙への作品の発表を拒否するようにになりました。しかし同年、大正デモクラシーが社会運動へ発展。そうした社会不安に伴い、もともと支配者階級に属する自分と自分の思想との矛盾に悩んでいた有島は、さらに苦悩を深めてゆきます。その結果、自己の生活改革を図り、私有農場を小作人に解放しました。しかし結局、苦悩を克服することはできず、大正十二年に軽井沢で人妻波多野秋子と心中するという最期を迎えました。

農場解放
有島農場はもともと未開拓地の森を有島武郎の父が子どもたちの未来を思い農場開拓したものでした。そのおかげで有島は将来に不安のない生活をしていましたが、相互扶助思想を理想とした彼は皆が平等であるべきという信念に基づき、資本の力から小作人たちを守るため農場を共同で営むようにと農民に話し、農場を解放しました。

大正12年	大正11年	大正8年	大正7年	大正5年	大正2年	明治43年	明治41年	明治39年	明治36年	明治30年	明治29年	明治23年	明治17年	明治14年	明治11年
波多野秋子と軽井沢で心中	農場解放 個人雑誌「泉」発刊	「或る女」執筆、著名な文筆家となるが、心身の不調に悩まされるようになる	「小さき者へ」「生まれ出づる悩み」執筆	妻安子、父武死去	「カインの末裔」執筆 10月末、木田から手紙と2冊スケッチブックが送られてくる	「白樺」創刊 キリスト教への信仰を捨てる	安子と結婚	生馬との欧州巡歴を聴講	ハーパー大学で授業	札幌農学校本科に進学	札幌農学校予科5年編入	学習院中等科卒業	横濱英和学校入学	幼稚園入園	蔵省の役人
45歳	44歳	41歳	40歳	38歳	35歳	32歳	30歳	29歳	28歳	25歳	19歳	18歳	9歳	6歳	3歳

二人にとっての『生れ出づる悩み』

有島武郎は、なぜ木田金次郎との思い出を『生れ出づる悩み』という形の創作にしたのでしょうか。また、実際の二人はどういった関係を築いたのでしょうか。北海道立文学館研究員の亀井さんにお話を伺い、『生れ出づる悩み』の裏側を追いました。



北海道立文学館研究員 亀井 志乃さん

『生れ出づる悩み』という作品

この作品は当時、新聞の連載小説でした。しかし、木田金次郎を主人公である青年のモデルとしているものの、有島にとっではあくまで創作活動の一つであつたので、木田本人には何も知らされていませんでした。木田は連載が進んでもそのことに気がつかず、作中の青年の境遇があまりにも木田に似ていると感じた友人から「どうも君のことを書いていくようだよ」という手紙を受け取るまで、その創作の主人公になっていたなどとは思ってもいなかったのです。

それからというもの、木田はこの作品に対して得体の知れない、むしろ気味悪いような不安な気持ちを抱きながらも次の掲載を待ったそうです。

この作品は「先生」と呼んで慕っていた有島との大切な思い出が詰まったものになり、岩内に文学碑が建立された時には、亡き先生を思い碑に抱きついて号泣したという話もあります。木田が世を去る三ヶ月前のことでした。

お互いの関係

二人は精神的な師弟関係を築

有島が『生れ出づる悩み』に描きたかったもの
有島はこの作品に、画家・木田金次郎を描きたかったのではありませぬ。この作品を通して「苦悩の青春」を描きたかったのです。そのため木田は格好のモデルでした。

大人の立場からの激励・叱責を込めたものではなく、青少年の側に立って親身な立場で励まし、勇気を持って呼びかけるようなメッセージ性を持つ『生れ出づる悩み』は、生きることに表現することの葛藤に苦悩する若者を描く青春小説のさきがけとなり、のちに教科書にも採用されるようになりました。

作品と事実の相違点

『生れ出づる悩み』は、有島が木田との出会いを元に執筆したものです。作中にはいくつか事実と異なることが書かれています。作中では、岩内町の人々の会話や生活の様子が生々しく描かれています。しかし、実は有島は死の前年まで岩内町を訪れたことはなく、作中の漁師の生活や言葉遣いのほとんどを想像で書いていたのです。また、主

いていました。

木田は有島のことを「先生」と呼び慕っていましたが、有島は農学校以外にも様々な所で講演を行い、多くの青年に「先生」として慕われていました。そのときの有島にとって、木田は単に大勢の中の「珍しい少年」程度の認識だったのかも知れません。会わない間も、有島は札幌で美術の展覧会などがあれば木田に手紙で知らせはしていましたが、その頃木田は家業が忙しく足を運ぶことができなかったため、二人は七年間も会うことがなかったのです。

木田が有島の「特別な存在」になる大きなきっかけは、やはり農場での再会にあったのでしょう。作中にも書かれているように、再会後の有島は木田の絵の成長を目の当たりにしました。その結果、自分にとって木田がかげがえのない弟子だと思うようになり、だんだんと木田の絵や、人生にまでも真剣に向き合うようになりました。

木田が有島を訪ねた理由

木田はもともと裕福な家庭の生まれで、実家のある岩内を出て東京の旧制中学に通っていた

「草の葉」から数篇の詩を翻訳して載せたのです。木田は、その有島の紹介文『草の葉』を白樺から切り抜き、漁に出る時でさえ肌身離さず、どこにでも持ち歩いていました。そのころの木田は、岩内町で漁師をしながら絵を描き続けていたものの、暗い生活、諦めきれない芸術への思いに苦しんでいました。その木田の暗い心に、『草の葉』は、正しいものの考え方と優しさと勇気を与えました。有島武郎という人間の芯の部分に触れるかのようなその文章を、木田は何度も何度も繰り返し読んだそうです。その意味で『白樺』は、二人の空白の七年間を埋める重要な雑誌だったのです。

二人にとっての北海道

画家になることを夢見ながら、家業に従事しなければならぬ現実には悩む木田と、しつけの厳しい家庭の長男として生まれ、親の意向からなかなか抜け出せなかった有島。苦悩する二人を結びつけたのが北海道でした。

有島は、木田の境遇と絵に惹かれて次第に木田の将来に対して真剣になっていきます。悩む木田を「君にとって北海道の豊

した。しかし家業の経営が傾き始め、また視力が落ちたことも重なり、東京での勉強を断念せざるを得なかったため北海道に戻ってきたのです。

東京から北海道に帰ったものの学業への思いが捨てられず、札幌の学校に通おうと友人宅に居候していた時に、有島が参加している黒百合会の展覧会に誘われたことが二人の出会いのきっかけとなります。木田は展覧会の数多い絵の中で、有島が描いた風景面に心を奪われたのでした。

実際の出会いはその日からほどなくしてのことです。木田は写生の帰りに偶然「有島」の表札を見つけ、日を改めてその家を訪ねました。有島は、そのときに木田が持ち込んだ絵を「個人的な見方をしてある」と称し、その画風を大変気に入ったそうです。

この時点で、木田は有島の文学活動についてほとんど何も知らず、ただ絵の描き手としての有島を訪ねました。展覧会で見た絵に惹かれるまま有島宅までたどり着いた木田は、以来有島のことを「先生」と呼び、尊敬する師として慕い続けます。

かな自然と暮らして絵を育てることが大事だ」と励まし、出来る限りの援助をするようになります。木田は有島のその言葉に、自分の今までの苦労は決して無駄ではなかったことを知り、また今は苦しい生活をしていてもその中で自分に合った一つの芸術が生まれるまで生き抜いていこうと決心しました。

木田は北海道美術の基盤を作ったといわれています。そのきっかけは、まさにこの二人が出会ったことにあります。北海道は二人にとって、とても大切な場所ですが、北海道にとってもこの二人の出会いには大きなものを残しました。

「白樺」

学習院の学生たちが創刊した同人誌。有島武郎や武者小路実篤などが作品を発表し、彼らは「白樺派」と呼ばれた。その思想は理想主義的で、個人主義的な作品が多かった。文芸作品だけでなく、当時は珍しかった西洋美術のことも掲載しており、美術の面でも革新的な雑誌であった。

木田はこの「白樺」の愛読者であり、木田の西洋風の画風も、ここから多大な影響を受けている。



なかそらち 中空知 温泉巡り5

新しいえ温泉 ホテル北乃湯

中空知にある温泉の旅も今号でなんと5回目。今回は「新しいえ温泉ホテル北乃湯」を紹介しします。美人の湯とうたわれる温泉は湯上がり後のお肌もつるつる。自慢の露天風呂は、1年を通して四季折々の景色を見ることが出来ます。館内のレストラン「ナナカマド」では、北の恵みを使った料理が舌を楽しませてくれます。温かいお風呂とおいしい食事は疲れた体を癒してくれるでしょう。

「この温泉のセールスポイントはなんですか。」
 一番は露天風呂から見える美しい山々です。浴槽にたっぷりながら、季節ごとに違う景色を堪能することが出来ます。5月の連休には満開の桜をライトアップします。また毎月6、16、26日のお風呂の日と毎週水曜日の水の日には、どちらも大人310円、子供210円というお得なお値段で入浴することが出来ます。そしてレストラン「ナナカマド」では地元奈井江産のお米と百合根を使った

新しいえ温泉ホテル北乃湯総務部長首藤繁勝さんに伺いました。どのようなお客様が多いですか。
 お客様としては地元奈井江町の方が主で、そのほか砂川市、滝川市からもいらつしやいます。冬は屋内体育センターに若い方が野球やサッカー、ご年配の方がゲートボールやパークゴルフの練習にいらつしやいます。
 来場者数の平均はどれくらいですか。
 1日平均430人です。
 温泉にはどのような種類と効能がありますか。
 含硫黄、ナトリウム、炭酸水素塩泉の湯で、効能は慢性皮膚炎、冷え性、高血圧症、動脈硬化症、糖尿病、痔疾などたくさんあります。つかると温まりやすく冷めにくい泉質です。

美人の湯につかると、まるでむぎたてのゆで卵のような肌になれます。温質もさることながら、浴場から聞こえてくるたくさんの楽しそうな会話とこぼれる笑顔、この温泉はまさに地元の憩いの場所です。温泉にゆつくりつかった後は、地元食材の工夫を凝らした料理が舌を楽しませてくれるでしょう。新しいえ温泉ホテル北乃湯は温泉、景色、食事それぞれ違った角度から来場者の方々を魅了し続けています。



百合根かき揚げ丼

「百合根かき揚げ丼」や「いももち」、阿寒産の鹿肉を使った「鹿肉のデミグラスソース煮込み」など、北海道産の食材にこだわった料理をふるまっています。
 読者の方々に一言お願いします。
 とても温まることのできる良い温泉なので、是非一人でも多くのお客様にお越しいただきたいと思っています。

「新しいえ温泉 ホテル北乃湯」
 電話：(0125) 65-3232
 住所：〒079-0302
 北海道空知郡奈井江町字東奈井江162番地
 アクセス：自動車…道央自動車道、奈井江砂川ICより約2分
 (高速で札幌から約45分、旭川から約50分)
 電車、バス…JR奈井江駅より町営バス向ヶ丘線で約20分
 入館料…大人500円、子供300円
 毎月6・16・26はフロの日 大人310円・子供210円
 毎週水曜日は水の日 大人310円・子供210円
 開館時間…AM9:00～PM10:00 (年中無休)



〈担当〉平本光、鈴木里美、笠原智代

いま、二人を感じて…

今回、「生れ出づる悩み」を皆さんにご紹介しましたが、二人を感じられる場所として、このような場所が残っています。この他にも木田は岩内に絵に対する思い、芸術を愛する心を残しました。そしてその思いは、岩内の人々に受け継がれています。有島もまた作品に北の土地で生きる人々を描くことによって、北海道の文学的發展に貢献しました。ジャンルは違っても二人はそれぞれの分野で、北海道を愛したのです。



●北海道開拓の村
 北海道百年を記念して設置されました。開拓の過程における生活と産業・経済・文化の歴史を示す建造物等を移設、復元して保存するとともに、開拓当時の情景を再現している場所です。その中に有島と木田の運命の出会いの舞台となった家が復元されています。

北海道札幌市厚別区厚別町小野幌50-1
 TEL011-898-2692
 アクセス
 JR札幌駅～JR新札幌駅 快速約10分
 JR新札幌駅バスターミナルより「開拓の村行き」(約15分)
 終点下車



●北海道立文学館
 中島公園の現在地に平成7年建立されました。その運営を担っている財団法人北海道文学館は、昭和42年に発足しました。散逸の危機にあった文学資料の収集保存を第一の目的として、文学資料の展示、文学散歩、文芸講座、講演会、刊行物の編集、刊行等の事業を行っています。所蔵資料は25万点ほどあり、北海道に縁のある文学者の活躍を知ることができます。

札幌市中央区中島公園1番4号
 TEL 011-511-7655
 アクセス
 地下鉄南北線「中島公園」駅もしくは「幌平橋」駅下車、徒歩7分
 (3月18日まで「人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金次郎・里見弴と中戸川吉二展～」を開催中)



●札幌芸術の森
 芸術の森美術館、野外美術館、各種体験工房では、様々な催しものが行われています。そのひとつに大正2年に北12条西3丁目にて建てられた有島武郎の邸宅が当時の姿のままに昭和61年7月に移築復元されています。建物は大正邸宅内部では有島武郎の様々な資料を展示しています。

札幌市南区芸術の森2-75 芸術の森
 TEL011-592-5111
 アクセス
 地下鉄南北線「真駒内(マコマンイ)」駅中央バス2番乗り場【空沼線】【滝野線】【芸術の森線】に乗車、約15分まで到着



●有島記念館
 昭和53年に有島武郎生誕百年を記念して、農場事務所跡地近くに開館されました。写真、書簡、書、絵画、初版本などを展示し、有島武郎の生涯と文学、農場の解放にいたる軌跡を紹介しています。

北海道ニセコ町字有島57番地
 TEL 0136-44-3245
 アクセス
 ニセコ駅から徒歩30分・タクシーで5分
 ふれあいシャトルバス ニセコ駅前～有島記念館入り口または有島記念館下車・徒歩5分(平日4便、休日6便)



●木田金次郎美術館
 生涯、岩内の自然を描き続けた木田金次郎の作品を知ってもらいたいという思いから開館した美術館です。絵画展示のほか、岩内の自然や町にふれるなどして、様々なコミュニケーションの輪を広げています。今年2月4日に入館者が30万人を突破しました。

北海道岩内郡岩内町万代51-3
 TEL: 0135-63-2221
 アクセス
 中央バス 札幌駅前ターミナル～小樽～岩内町(所要時間2時間30分)

今回ご協力いただきました(施設名五十音順)
 有島記念館 飯田 勝幸さん
 木田金次郎美術館 岡部 卓さん
 札幌芸術の森 山下 秀幸さん
 北海道開拓の村 細川 健裕さん
 北海道立文学館 亀井 志乃さん
 ありがとうございます。



先輩に聞け! OB・OG インタビュー 第2弾



國學院短期大学OB・OGは現在約6千余名。それぞれ色々な土地でご自分の道を進んでいらっしゃいます。今回は、札幌と東京で活躍されている働く女性の方4人にスポットを当てて、今のお仕事に就くきっかけや、やりがいなど社会人としてのお話を伺ってきました。

吉田直子さん
(国文学科、昭和63年卒)
現在、劇団TPS所属
岩田醸造株式会社日本
ソムリエ協会認定ワイ
ンエキスパート

演劇に進もうとしたきっかけは

高校の時に演劇部だったんですが、短大に入ったら演劇をやめようと思っていました。だけど、短大でもやるようになって仲間が集まってきてしまったんです。やっていくうちに、やっぱり短大を卒業しても続けていきたいなと思ってたんです。

最初は興味があったという程度だったんです。でも、短大で役者をやったり、演出も皆で話し合ってたんですけど、いくうちに、自分たちのやりたい芝居を創ることができるようになったという気がありました。

持ちになりました。そういうきっかけを短大時代に掴んだ気がします。もし短大でやめてしまっていたら、やらなくなっていたかもしれないですね。その後、上京し舞台芸術学院、文学座附属演劇研究所で学びました。

ワインのお仕事に就くきっかけは

ずっと演劇中心の生活で、仕事は派遣会社に所属してやっていたんです。でも、年齢を重ねるにしたがって、資格が欲しいなという考えを持つようになりました。その頃ちょうど、派遣の仕事でワイン販売をやるが多かったんです。今の会社へ入ってから、本格的に学びたいと思うようになりました。そこで札幌ワインアカデミーに通うことにしたんです。半年くらいの勉強でしたが、会社の社長のご協力もいただき資格試験を受け、一昨年資格を取ることができました。

結構楽しいんですよ、ワインの世界って。色んな世界の、例えばフランスとか、イタリアとか、そういう他国の文化を知り、歴史に触れ合う機会にもなるんです。そういうところが魅力的なので、この仕事を選びました。

ワインエキスパートとして、また劇団員としてのやりがいは

ワインエキスパートとしては、お客様が求めているものに近いワインを自分が提案でき、お客様が喜んでくれたり、共感してくれた時です。「あれが美

味しかった」って言ってまた来店してくれた時は、最高に嬉しいですね。

演劇の方は、1、2時間劇場にお客様を拘束して、作品を見せることになりません。チームワークで作っていかないといけない舞台はできないんです。作品を創るための様々な努力が求められます。そうして皆で協力して創った作品が、お客様の想像力を刺激するような作品になった時に一番大きな喜びを感じます。お客様に「面白かった」とか「共感した」とか言われるよりも、むしろ芝居を見て自分の実人生などと重ね合わせて、色んなことを想像してくれたらこんなに嬉しいことはないですね。

では、共通して言えることは、そうですね。仕事に携わる立場としては、探究していくというか、常に興味を持って吸収していくという気持ちですが、テーマですね。それを忘れたら、いけないと思います。時間を始め物理的な部分を費やしてでも、自分の中で真摯に探究をしていく作業を続けていかなければいけないなとは思っています。演劇にしてもワインにしても、ここまでやれば良いというものがないのですから。「無限の可能性を秘めた世界」が、共通するテーマじゃないかと勝手に思っています。余談ですが、古代ギリシャでは「酒」と「芸術」の神は共通でパックス神なんです。

社会人にとって最も大切なことは

マナーと、人を思いやる気持ちが一番大事ですね。例えば短大で習った礼儀とか礼の基本みたいなことが、学生の時は特に差し迫って感じられなかったのですが、いざ仕事をすると、その大切さに気付かされます。

今の学生に一言。今すべきことは

短大の2年間で、自分が好きなものや興味を引かれるものを見つける作業を是非してほしいと思います。そういうものがある人はいいんですけど、もしない人がいたら、お金と時間をかけてでも見つけてほしいんです。好きなものを学生のうちに見つけておくと、社会人になってからでも続けていくことはできると思います。諦めないで、自分で是非見つけて欲しいと思います。



柴田恵理子さん
(幼児教育学科、平成元年卒。現宝流学園も
なみ幼稚園教諭)

短大時代の授業で心に残っているものは

心理学を通して
学生時代は、人との関わり合いや心理学に関する授業が大好きでした。絵

画制作のような授業で色彩心理を少し習ったのですが、そのせいでしようか、幼稚園の先生になってからも子どもが描いた絵を見る時などには、使っているクレヨンの色や描き方を意識することがあります。

ノートの活用

授業自体はもうあまり覚えていませんが、短大時代の教科書やノートには卒業してからも何度もお世話になりました。働き始めて何年かは不安や戸惑いが多く、「明日はどんなことをして遊ぶ」「何のお話をしよう」「お母さんへべつたりで幼稚園に行きたがらない子にはどう対応したらいいのだろう」などと悩むとノートを開き、そこからたくさんヒントをもらいました。

もちろん園長先生や先輩の先生へも相談しましたが、自分の授業のノートはずっと捨てられませんでした。

仕事をされていて、楽しい瞬間は

子どものすばらしさ
何よりもまず、子どもたちの笑顔を見た時です。つらいことがあっても、子どもの笑顔を見ると癒されます。やっぱり子どもが好きなんです。

それと、子どもの成長です。それまでできなかったことができるようになったり、お手伝いを全然しなかった子が進んでお手伝いするようにになったり。その子によって時間はかかっても、なにか変わる瞬間があるんです。時にはこちらがはっとするほど変わる瞬間も

あって、嬉しい驚きを感じます。責任も大きいですが、やっぱりそういうところはこの職業ならではの楽しさですね。

実習生を受け入れて

子どもたちは遊ぶのにも力の全てをぶつけてくるので、体力的にも大変ですけれど、本当にやりがいがあります。この幼稚園には看護学校の学生が実習に来たりもするのですが、実習を通して保育の道に目覚めたのか、看護学校を卒業したあとに保育の勉強をする人もいたというくらいです。そういう人も魅力を感じるすばらしさがあるので

今と昔の子どもたちには違いは

子どもが変わらない育ちと育つ環境の違い
子どもがいる場において20年近くになりますが、子どもたちの育ちには変わりはないと思います。ただ、子ども自身が変わっていきなくて周りの環境が変わってきたことを感じます。鬼ごっこなど体を動かす遊びを知らない子や、テレビやゲームの話ばかりする子が多くなってきたいますね。少し前の子どもたちならしていたような遊びを知らないで、先生が遊び方を教えて遊ぶということが必要になってきているのだらうと感じます。

でも元来子どもは体を動かして遊ぶのが好きですので、最初遊び方を知らなくても、みんなでやると楽しく遊ん

でくれています。家では思い切り走り回って遊ばない分、幼稚園で羽を伸ばしているようにも見えますよ。

社会人として最も大切なことは

人とのつきあいが大事になってくると思います。謙虚な姿勢で周りの意見を聞き入れて、自分の考えも理解した上で行動できる人でないといけませんね。

社会人として、自分の言葉に責任を持ってください。

子どもを持つ親御さんには、教師としての心の余裕を忘れないでほしいです。何かと忙しくしていると、どうしても子どもが見えなくなってしまう。口だけで「子どものため」と言うよりも、一緒に遊んであげたり話を聞いてあげられるような時間と心の余裕が大切だと思います。

今の学生に一言、今すべきことは

映画でも、旅行でも、コンサートや演劇を見に行くのもいいです。とにかく自分にたくさん刺激を与えてください。私自身、若い時にはよく劇団四季の演劇を見に行きました。今はそこで見たものをヒントにして、幼稚園で行う劇の工夫をしたりしています。経験があれば、それを生かす場は出てきます。

それと、同じ志を持った友達は大変にいた方がいいと思います。同じ学科を卒業して同じ職業に就いた友達は、文章力が身についたと思います。書くことが好きなのが今のイベント企画や編集業務につながっていると思います。

社会人として最も大切なことは

やっぱりマナーですね。基本的なこと、「挨拶」ができない人が意外と多いんですよ。正しい姿勢で気持ちのいい印象をあたえることが大事だと思います。

後は、自分のことが先ではなく相手を思いやる気持ちを持ち、相手のために何ができるかを考えることも大切だと思います。良いコミュニケーションができる、そういうスタイルで仕事をするのを私も日々心がけています。

今の学生に一言、今すべきことは

学生時代にしかできないことをしてください。遊びやサークル活動、先生と話す時間を大切にしてください。学生ならではの体験、時間は非常に貴重です。



佐々木香世子さん
(英語科※現コミュニケーション
ケーション学科、平成
5年卒。現在、三越テ
ィファニーランドマー
クプラザ勤務)

接客という仕事をされていて心がけ

それだけで大きな財産です。仕事の相談や愚痴を言っても分かってくれのが心強いですしね。



阿部さおりさん
(国文学科、平成2年
卒。現有限会社インタ
ーリンクジャパン代表
取締役)

大学卒業後、今のお仕事に就くまでの経緯は

國學院大學在学中は国語の教員になるかと教員免許を取得していましたが、4年生になってテレビ局のアルバイトをしていた経験から、マスコミの世界に興味を感じるようになったのですが、特に専門的な勉強もせず、憧れだけで始めた就職活動はうまくいきませんでした。

それでもマスコミという職業を諦めきれず、アナウンサーをしているOBの方の紹介で東京の音楽プロダクションの会社に就職をしました。1年目は雑用ばかりでしたが、2年目にはラジオ番組の制作担当を任せられるようになります。某都内ラジオ局の番組原稿を書くなど、初めての責任ある仕事にやりがいを感じました。

2年目の冬に北海道でFMが開局するという話が舞い込んできたのがキッカ

ていることは

まず、何より感謝の気持ちを忘れず、お客様の立場に立ち、まごころで接することを心がけています。

そしてその次に知識を豊富にし、更にブラッシュアップし続けることでしょうか。

ジュエリーやアクセサリーは大切な人に贈るものですよ。好きな人やご両親やお世話になった人へ。自分自身にご褒美として贈ることもあると思います。お客様は購入される際、品物に自分の想いを託す部分がとても大きいので、商品に贈る気持ちや相手とのつながりを見つめたいとお思いの方がほとんどです。そのような時に、商品知識やエピソードの他、豊富な知識を持つていれば、お客様に縁やつながりを感じていただける商品を見つけて頂くお手伝いがしやすくなります。

ジュエリーを手に入れる時は、それだけの満足感を得たいものです。お客様がジュエリーを手にした時の感動や、使用した時の喜びが何倍にもなっていて頂くことが喜びなので、気持ちと知識の両方を磨き続けたいと思っています。

短大の授業で、今のお仕事に役立つものは

「秘書実務」や「秘書学概論」などの「秘書学」に関する授業です。社会に出てからとても役に立つ授業でした。手紙の書き方、挨拶の仕方、言葉遣い、

カケで、北海道に戻り、1994年から9年間、札幌でFMラジオ局スタッフとして勤めました。2003年6月、企画プランナーとして独立をしました。

起業のきっかけは

北海道のラジオ局に勤めている頃から、「何かやりたい」という気持ちがあつたのですが、日本の景気が低迷している時期でしたので、周囲の方の反対もありました。

それでも、「周りが反対するほど頑張りたい」という自分の性格とラジオ局の企画制作に携わることのできた自信が、私に独立を決心させました。

以前から、「食」「観光」に興味があり勉強していたので企画の仕事をするならそれだろうと思っていました。03年6月、地元北海道の観光、自然、人、食、芸術文化を盛り上げていきたいという思いが募り、個人事業主として始めました。06年3月に法人化し、「有限会社インターリンクジャパン」を設立しました。

起業されてから苦労したことは

語ればキリがないです。今でも苦労していますよ。ネームバリューがあるラジオ局の人間から起業して自分一人になった時、実績の無い会社に世間の目は意外と冷ややかでした。認知されるまでかなりの時間がかかりました。今ではやっと、一つずつ実績を作ることができ、身になってきていると感じ

実務でとても活かせることが多かったです。これらのことを教えてもらう機会は、社会に出てからは意外に少なく、知っていて当たり前という世界なんですよ。

人をサポートしたり、マナーを知って気持ちよくビジネスをしたり、楽しく人と接することが好きだったので、自分の感覚にも合っていました。

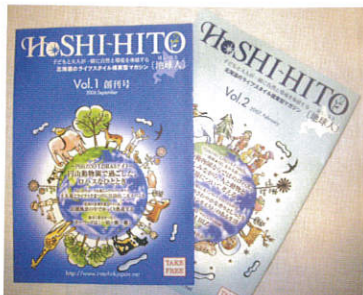
社会人として最も大切なことは

二つあります。素直であること、そしてバランス感覚です。

「素直」というのは自分に対して素直ではなく、他人に対して素直である、という意味です。例えば、自分が注意された時に、周りの声に耳を傾け、真摯な姿勢で受け止めることは大切だと思います。上の方から指摘や助言を受けても素直な気持ちで聞けなければ、せっかくの成長のチャンスを失うことになってしまいます。自分のためにも周りの人に「素直」であることが必要だと思います。

バランス感覚とは、常に主観と客観の両方の視点で物事を捉えていくということ。例えば、親子関係でも自分の主張ばかり親に伝えるのではなく、両親の立場に立った考え方や、他人からの目線というふうになんか立場から考えれば、良い答えが見つかると思うんです。

色々な角度から物を見る視点、物事を受け入れる懐の広さ、それを得るた



フリーペーパー「HOSHI-HITO」。
インターリンクジャパン発行。

インターリンクジャパンが今までされたお仕事は

札幌大通で行われる「ライラックワインガーデン」や、藻岩山で行う「藻岩山お月見Nightムーンライトセレナーデ」、札幌円山動物園で開催している「円山ZOO LOHASナイト」などの企画・運営に携わることができました。北海道のLOHASを提案する「HOSHI-HITO」(地球人)というフリーペーパーも発行しています。配布先は北海道内の主要JRの駅45カ所、主要道の駅31カ所などに置いてあります。環境をテーマにしている公共性のある読み物ですので是非ご覧になってください。

学生時代に役に立ったことは

日本文学を専攻していたので、「源氏物語」「徒然草」など純粋な日本の歴史、文化に触れて「書くこと」で表現力や

今の学生に一言、今すべきことは

やりたいことがあったら、躊躇せず取り組んでほしいです。体力的にも、物事を捉える感覚的にも、スポンジみたいになんでも吸収できる時期だと思います。

やりたいことが無くても、何でもいいのです。目の前に全力で取り組んでみることをおすすめします。小さなことから動き始めることで、その中で自分が力を入れたことや、次にしたいことが次第に見えてきます。

また、目標やゴールを設定した時、何もしていない状態からだとゴールは遠いですが、何かしていればゴールへの距離が遠うと思えますし、小さな積み重ねや経験が役に立ちます。もし、遠回りになっても、経験は必ずいつか役に立つ気がします。

物事を見たり、人と接したりする時は、楽しい気持ちで、おおらかでいるように心がけてください。明るく素直でいることは、社会人になっても必要とされます。素直で前向きでいられれば伸びていくのではないのでしょうか。経験を積むと、自信が付き、傲慢になっ

てしまいがちです。自信を持てる年代になっても素直さを持ち続けて深みを増していく、というのは今の私にとっても大切なテーマのひとつです。

自分のCDで最高の思い出作りを 新十津川町総合健康福祉センター「ゆめりあ」



実際にCDを作ってみよう！
実際に作ってみたい方がよくわかるだろう、ということでCATYスタッフがCDを作ってみました。

客席は全部で352席。ホールはとて新しく、少し小さな造りなのが逆に使用しやすい。ステージ上には今回のレコーディング用の最新カラオケ機器と、マイク、ヘッドフォンが用意されていました。

ヘッドフォンを装着し、声出しと、声と曲の音声確認を兼ねて1回歌うことに。カラオケ店へ行って歌うよりも本格的な作りになんか緊張。

声出しを兼ねた確認が終わると、いよいよ本番です。担当の方の指示に従いながら、レコーディングは始まりました。歌い終わると、録音された曲の確認をします。改めて客観的に聞く自分の声が、思っていた声と違って驚いてしまいました。

ここで納得できるものになっていたら終了です。しかし、少し声がブレてしまっていました。そこで途中から重ねて録音することに。歌詞さえ分かれば途中から録音することも可能です。これを利用して、二人グループの曲を2回に分けて一人で歌うことも可能になります。

いて確認。
重ねたなんて全く分からない出来に感激するとともに大満足。

約1時間かけてレコーディングは終了。その後ジャケットに使用するための写真撮り。自分で使用したい写真があれば、それを持ち込んで大丈夫だということ。ちなみに今回はゆつくり丁寧にレコーディングしましたが、本来ならばカラオケでは1時間で3〜4曲程録れるそうです。

写真を撮り終わったら、あとは完成するのを待つばかり。約2週間で出来上がります。

気になる料金ですが、今回はホール使用料やカラオケ使用料など、全ての費用を含め、なんと5600円！これは、時間と曲数単位の金額なので、人数が多いほど一人あたりの金額も少なくなる計算になります。

実際に作ってみるのはとても楽しく、

良い経験となりました。音響も素晴らしい、自分の声にあった調整をしてくださいます。私もCD歌手の仲間入りした気で帰って来ました。

CDが出来るまで

- 1・申請
 - ・録音希望日の60〜14日前までにゆめりあ窓口で申請
 - ・演奏形態、演奏曲目決定
 - ・使用料の確定（支払い期限は録音の前日まで）
- 2・録音
 - ・申請した時間内でレコーディング
 - ・準備、リハーサル（音だし）、片付け時間等含む
- 3・完成
 - ・レコーディング後、CDラベル作成
 - ・二週間以内に郵送又は直接引き渡し

録音可能な形態
カラオケ/合唱/民謡/吹奏楽/ピアノ演奏/楽器の弾き語りなど

使用上の注意

- ・日本音楽著作権協会（JASRAC）への手続きは、町が行います
- ・コンサートなどのライブ録音は出来ません
- ・販売目的のCDの作製は出来ません



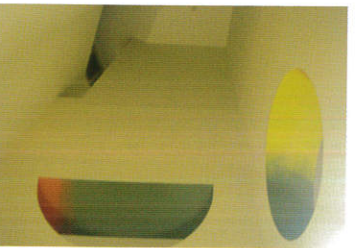
実際に作ったCD。本物の歌手気分になります。



これからレコーディング。ちょっと緊張しています。



ジャケット例。センスの良いものばかりです。



健康づくり指導室の天井。とても凝った造りです。



健康体力増進室



加工室

卒業などの記念に、友達や仲間と自分だけのオリジナルCDを作ってみるのも良い思い出になるでしょう。

ホールの他にもゆめりあには様々な施設があります。壁全面に手すりが付いている床には段差が一切無いなど、バリアフリーもしっかりとしています。車椅子や足が不自由な方々への配慮が行き届いています。細部のデザインにも気を使って造られているということがよく分かります。

ゆめりあ施設紹介

「ゆめりあ」の中には、お茶やお花などの稽古や囲碁・将棋など趣味の活動ができる和室、パンやジャム、味噌やアイスクリームなどの加工が行える加工室、食生活改善実習やイベントなどで使用できる調理実習室、健康づくり指導室は乳幼児の健診に使われるほか健康指導などを行う時にも利用されます。他に会議や研究会、懇親会・社交ダンス・カラオケなどを行える多目的ホールなど、様々な施設があります。

なかでも健康体力増進室は、ランニングマシンや自転車運動、腹筋・背筋を鍛えることのできる器具などが12種類設置されており、町内に限らず町外から利用しに来る方も大勢いるそうです。乳幼児室も併設されているので、子供のいる女性の方でも気楽に利用することができます。また、個人の体力に応じた運動プログラムを作成し、無理なく効果的な運動ができるように指導してくれます。

「ゆめりあホール」は道内の小ホールとしては最高級の音質・音響を誇り、音楽や芸能、演劇などの練習・発表に使用することが出来ます。優れた音響効果を活かして自主CD作製事業も行われています。控室が3室、練習室が1室あり、練習室は定期練習に使用も可能。座席の中には身体障がい者の方が利用できる席が12席設けられています。ステージは「舞台仕立て」と「電動音響反射板仕立て」の2種類の形状があり、演目によってその都度変更することが出来るそうです。

ふるさと学園大学、ゆめりあ部会とは？

施設運営の他に福祉活動として、デイサービスや高齢者大学などの活動を行っています。「ふるさと学園大学」は、60才以上の方を対象に年に10回程度、ゆめりあ内を活動の拠点にして一般教養から健康運動など高齢者のニーズに合わせて様々な講義を開講しています。大学とは別に「ゆめりあ部会」というものもあり、こちらは月に2回、陶芸や大正琴・民謡など趣味の活動を通して高齢者同士の交流を深めたり、生きがいにしてもらうことを目的としています。

「ゆめりあ」は、健康づくりのための施設から文化に親しむことのできるホールまで、一つの建物の中に集まっています。そのためとても便利で、若い方から高齢の方まで利用することが出来る施設になっています。

新十津川町内の方だけではなく、町外の方も利用することが出来るので、様々なイベントや集まり、自分の健康づくりのためにこれらの施設を使用してみたいかができるように。



住所：樺戸郡新十津川町字中央307番地1
電話番号：(0125) 72-2000
開館時間：9:00~21:00
休日：年末年始のみ
HP：<http://www.town.shintotsukawa.lg.jp>



調理実習室

滝川市が誇る黒柳朝

黒柳朝が集めた世界各地のアンティーク

皆さんは滝川市民会館内にある「チョッちゃん・アンティークコレクション」をご存知ですか。滝川出身の著名人黒柳朝さんの集めていたコレクションを、展示してあるのが、「チョッちゃん・アンティークコレクション」です。今回はその魅力を皆さんにお届けします。

朝さんがアンティークを集めたのは、音楽家であった夫の海外公演に一緒に行き、その国々で目に付いた物を買って集めたことが始まりでした。朝さんが集めていたのは、豪華な物ではなく、大好きな花模様がモチーフの美しい物。それは滝川の自然の中で遊んでいた朝さんらしい感性でした。

「チョッちゃん・アンティークコレクション」は、黒柳朝さんが趣味で集めたアンティークを、寄贈先の滝川市が皆さんに見てもらうことを目的に設けた場所です。それは「自分のコレクションをバラバラにするより、まとめて多くの人に見てもらいたい」という朝さんの願いが出发点でした。

館内にはアンティークオルゴール、アンティークバッグなどがそれぞれ輝きながら飾られています。その中でも朝さんの一番のお気に入りにはアンティークバッグでした。そのきっかけになったのは、古いバッグの口金を見たとき。それ以来アンティークバッグの虜になったのだとか。



昨年9月のオルゴールコンサートでも鳴らされた、オルゴール



朝さんが一番熱心に集めていたアンティークバッグ



朝さんの好きな花をモチーフにしたブローチ

滝川を愛した黒柳朝



テレビにも多く出演している黒柳徹子さんの母親にあたる黒柳朝さんは幼少時代を滝川で過ごされ、滝川市とゆかりのある方です。黒柳朝さんは高級なものよりも自分の好きなものを大事にするといった人でした。戦争も経験し物資の無い時代に子育てをしたこともあり、物を捨てずに活用したり必要なものは自分で作ったりしてしまう程です。大胆で決断が早く、すぐ実行する力強さのある方でした。

そのような黒柳朝さんは、いかに故郷である滝川市を盛り上げるべきかを常に考えていました。

滝川市の花として今やシンボルにもなっているコスモスは、花が好きな黒柳朝さんの言葉がきっかけで制定されました。他にも自伝である「チョッちゃんが行くわよ」には、滝川で過ごした生活が生き生きと描かれています。この本がNHKの朝の連続ドラマに取り上げられたことで、滝川の知名度は日本中で急上昇したのです。また自分の趣味で集めた世界中のアンティークは滝川市に寄贈され一般公開されています。こういった物を残すことから、滝川市への気持ちの強さがあるか

チョッちゃんコレクションにかかわる事業

黒柳朝さんは平成18年に95歳でお亡くなりになりましたが、ひとりの人の生涯を歴史的にみるとアンティークコレクションや滝川市の花コスモスなど、今もお滝川市に生きたものを残しているように感じます。

過去3年間にアニメ映画「チョッちゃん物語」の上映、リーフレット・ポスター作成、チョッちゃん工房ワークショップ（手作り工房）、音楽とワインの夕べ、アンティークオルゴールコンサート、チョッちゃんクリスマスフェスタを開催してきました。今年には「チョッちゃんおしゃべり工房」をテーマに、朝さんの次女黒柳眞理さんを交えたイベント、アンティークオルゴールコンサートなどを企画中です。皆さんも一度チョッちゃんコレクションを観賞してみたいかがですか。



チョッちゃんクリスマスフェスタで講演をする、次女の眞理さん



「これまでも多くの方がチョッちゃんに親しみを感じ、様々な催し物に来て下さいました。これからも、人がにぎやかに集う場所として、活用されていけるよう頑張っていきます」（チョッちゃん事業に携わってきた実行委員の方のコメント）

滝川市文京町1-1-19 滝川市民会館内
電話 0125-24-7710
開館時間 10時～16時
休館日 月曜日 年末年始
入館料 無料

第16回 コミュニケーション学科研究発表会

学科研究発表会とは、コミュニケーション学科の生徒が集まり、始まって8ヵ月後の各ゼミの成果を発表する会です。各ゼミ代表がゼミで取り扱った内容を元にした、文学、刑法、哲学、スポーツなど多種多様なテーマで発表。それを学生に、聞くことで学ばせ、質問をしたりしてテーマについてより深く考えようとする目的で15年前から行われています。そこで、ゼミ発表を終わった発表者3名にインタビューをしました。

1人目は「Why did Kurt Cobain kill himself?」という発表をしたタイムゼミの澤村美菜さんです。この発表はすべて英語で発表していたり音楽を流したりと飽きさせない工夫をしていました。

Q・この題材を選んだ理由・きっかけは何ですか？

A・ゼミ生みんなを出し合ったテーマからもうとも今の学生がとっつきやすく、また考えさせられる題材だと思い、これを選びました。

Q・この発表をするまでに苦労したことはありますか？

A・全て英語による発表なので、まずはスラスラ読めるように何度も練習したこととです。また、分担作業にしたので、それを全て合わせる時に他のゼミ生と時間が合わず苦労しました。

Q・発表を終えてどんな気持ちですか？

A・とりあえずホッとしました。たくさん質問が出てよかったです。



コミュニケーション学科2年 澤村美菜 (写真右)
オюнバトル・エルデンソブ (同左)

2人目は「日本が抱える人口問題」という発表をした牧野ゼミの首藤聡志くんです。この発表では少子高齢化問題等を取り上げ自分なりの解決策を発表してくれました。

Q・この題材を選んだ理由・きっかけは何ですか？

A・様々なメディアで取り上げられているため、前から興味がありましたし、私たちが今真剣に考えるべき問題だと考えているからです。

Q・この発表をするまでに苦労したことはありますか？

A・いろいろな見解があるため、まとめるのに苦労しましたし、この問題に対する解決策を考えるのにもとても苦労しました。

Q・発表を終えてどんな気持ちですか？

A・課題が立て込んでいたため案になりました。人前に立ち自分の考えを正確に伝えるのは難しいと改めて思いました。



コミュニケーション学科2年 首藤聡志

3人目は「クローン問題を考える」という発表をした太田ゼミの野村知弘くんです。この発表では野村君が某書店の制服を着て「いらっしやいませ」と言ってから始め、みんなを飽きさせない発表をしてくれました。

Q・この題材を選んだ理由・きっかけは何ですか？

A・他のゼミと違って私の所属するゼミではゼミ生全員で扱う題材を決めたので、私がこの題材を選んだというわけはありません。

Q・この発表をするまでに苦労したことはありますか？

A・私が発表するということが発表会2日前に決まり、2日間で文章とレジュメを作らなければならず、大変忙しかったです。

Q・発表を終えてどんな気持ちですか？

A・大すべりをして、やりきれない気持ちです。いつか、リベンジをしたいと思っています。

3人の方々ありがとうございました。他の発表者の方々も発表お疲れさまでした。



コミュニケーション学科2年 野村知弘

平成18年度 国文学科卒業論文・卒業創作発表会

昨年12月6日にホテルスエヒロにて第21回卒業論文・卒業創作発表会が行われました。

この発表会は、2年生は卒業論文をより充実したものにさせ、1年生は2年生の発表から受けた文学的刺激を来年の発表に活かすことを、そして最終的には論文を『滝川国文』や『滝川文芸』に集約することが目的です。



6つのゼミから選出された9人の発表者が壇上で各自の卒業論文・卒業創作を発表しました。そのうち3名にお話を伺いました。



濱口直也



遠藤菜都美



長谷川恵美

この題材を選んだのはなぜですか？

安田ゼミ 濱口・1年のときに安田先生の公開授業で、『たけくらべ』を学び、そこから興味を持ったことがきっかけで一葉のことについて調べてみようと思ったからです。

月岡ゼミ 遠藤・私は元々、妖怪や都市伝説が大好きでした。学校の怪談を卒論のテーマに選んだのは、いわゆる「現代の怪異譚」としての意味合いが強いからです。もちろん、学校の怪談自体に興味があったというのも大きいです。

卒業論文を終えて、今後、卒業論文をどのように展開していきますか？

濱口・土台をしっかりと固めるために、様々な文献にあたり、また、自分の考えに則したものに仕上げたいために、証拠付けをしつかりとしていきたいです。

遠藤・今後の課題としては証拠集めです。編入先でもこうした妖怪や学校の怪談に関するものを研究していきたいので、足元を固めていきたいです。

なぜ卒業創作でこの小説を書こうと思われたのですか？

橋本ゼミ 長谷川・退廃的な話を書きたかったからです。

卒業論文を終えて、今後、卒業論文をどのように展開していきますか？

長谷川・ヒロインに出会ったことで主人公の心がどのように変化していったのかについて書いていきたいです。

今のペースを崩さずに書ければと思っています。

懇親会では、ビンゴゲームで場が盛り上がりました。懇親会は第1回から行われており、当初は漢字クイズなどが催されていましたが、数回で終わり、現在のレクリエーションになっています。

そこで学生幹事代表の有留さんにお話を伺いました。

学生幹事代表 有留・先生方や幹事以外の学生の助力なしでは成り立たなかったと思います。特に全体として記憶に残っているのが懇親会です。ビンゴゲームの景品を決めるところから任されたので、なかなか意見がまとまりませんでした。最後には会に相応しいものを揃えることができました。

幹事のみなさんとはとてもしっかりとってため、代表としての苦労は特にありませんでした。司会や懇親会担当として先頭に立ってくれた方々はもちろん、会を支えてくださった先生方や幹事の学生全員で、卒論発表会と懇親会成功の喜びを分かち合いたいと思っています。

卒業論文・卒業創作発表会の担当の教

安田ゼミ	濱口直也	樋口一葉「裏紫」論-未完の理由についての一考察-
月岡ゼミ	吉田美和子	折り紙の民俗学-折り紙の起源-
山寺ゼミ	片山真	「太史公」小考~「公」の意味するところについて~
月岡ゼミ	遠藤菜都美	学校の怪談に見る色彩~紫~
安田ゼミ	佐藤由布子	小野不由美「屍鬼」論-作品の舞台となった「村」について-
播磨ゼミ	荻野絵美	「若紫の巻」から「源氏物語」のテーマを探る
橋本ゼミ	田所仰	「知っている事を識らない故の」・小説「靴中の蛹」
柴村ゼミ	大友いくみ	「えんとつおじさん」
橋本ゼミ	長谷川恵美	「私にとって表現とは」・小説「蝶」

以上、発表順

員、安田先生・山寺先生にもお話を伺いました。

「学生達はよくやってくれた。卒業論文・卒業創作発表会は本学だからできること。胸を張れる。学生達を誇りに思う」

お二人が教員幹事として行った仕事は、学生への卒論内容に対するアドバイスを、発表会をスムーズに行うためのサポートが中心。運営は、全て学生の手で行われたとのことでした。

担当：板井、岡本、大丸、高橋、岡田、藤森

2006年 第4回 國學院短期大学作文コンテスト受賞式

テーマ：家族と友達

平成18年10月22日(日) 國學院短期大学開学記念館で、作文コンテストの授賞式が行われました。そこで審査委員長の海老沢泰久氏(直木賞作家・國學院大學講師)に、インタビューを行いました。

海老沢泰久氏：選考基準は、書こうとしたことがきちんと人に伝わるように書けていたかどうか。特別な基準はありません。文章とは書きたいことを考え、整理して、それを上手に書いて、相手に伝えることが一番大事。今回海老沢賞(グランプリ)に選んだ4人は、それができていました。

また、一つのテーマをどれだけ発展させるかどうかを期待していました。第1回～第4回まで同じテーマだったのは、そのためです。そのような中、テーマに身を照らして考えた優秀な作品が数多くありました。

今回、960通(31校)の中から各賞を受けたのは、以下の方々です。



海老沢泰久氏



授賞式

【小学生部門】<低学年の部>

- 海老沢賞
大好きな親友 新十津川町立新十津川小学校 3年 川村 菜侑
- 優秀賞
ともだち 滝川市立滝川第一小学校 1年 櫻庭 立樹
- 奨励賞
私の友達 滝川市立滝川第一小学校 5年 押切 絢賀
ぼくの家族 滝川市立滝川第一小学校 5年 片根 竜太郎
家族 滝川市立滝川第一小学校 5年 鈴木 まなみ
運動会のこととその後 滝川市立滝川第一小学校 6年 松本 智也
大切な友達 滝川市立滝川第二小学校 6年 渡邊 史帆
とれちゃったあ 滝川市立滝川第三小学校 4年 大沼 舞



【小学生部門】<高学年の部>

- 海老沢賞
ぜんぜん、さきめなし 滝川市立滝川第三小学校 4年 岡田 紫
- 優秀賞
わたしの家族 滝川市立滝川第一小学校 5年 西村 彩花
友達って難しいんだなあ 滝川市立滝川第一小学校 6年 佐藤 瑞希
家族 滝川市立西小学校 6年 佐藤 友香
友達 滝川市立江部乙小学校 5年 有働 あかね



【中学生部門】

- 海老沢賞
家族 滝川市立江陵中学校 3年 中島 沙綾
- 優秀賞
祖母の死を乗り越えて 滝川市立江陵中学校 3年 太田 志穂美
友情～光り輝くもの 滝川市立開西中学校 2年 佐藤 瑠美
何ができるか・・・ 赤平市立赤平中央中学校 3年 明石 舞
家族について 名護市立久志中学校 3年 松田 唯
- 奨励賞
ぼくのじいちゃん 滝川市立江陵中学校 2年 大山 優
僕の大切な家族 滝川市立江陵中学校 2年 米倉 諒
うちの犬 滝川市立江陵中学校 2年 市原 鈴
家族を失う怖さについて 滝川市立江陵中学校 3年 山内 浩靖
夏休みの生活 滝川市立江陵中学校 3年 育藤 司
弟がくれたもの 滝川市立開西中学校 1年 今野 那美
私とブルー 滝川市立江部乙中学校 3年 渡邊 菜奈
大事な家族、大切な笑顔 赤平市立赤平中学校 2年 石黒 絢香
私のもう一つの家族 名護市立久辺中学校 3年 大城 奈津美



【高校生部門】

- 海老沢賞
弟 えりも高等学校 2年 高橋 未希
- 優秀賞
家族 室蘭商業高等学校 3年 伊勢 葵
現代家庭内私想論 滝川西高等学校 3年 井下 真伸
ずっと友達 鶴川高等学校 2年 山崎 隆太
祖母の野菜畑 えりも高等学校 2年 蛸子 あゆみ
- 奨励賞
じいちゃんのお母へ～オッマー～ 滝川西高等学校 3年 伊藤 真希江
家族 美唄聖華高等学校 1年 大竹 恵
私の母と父 美唄聖華高等学校 2年 諸岡 望美
私の友達 室蘭商業高等学校 2年 古俣 麻衣子
えりも高等学校 3年 竹内 みうな



國學院短期大学 開学25周年

國學院短期大学も今年で開学25周年。25周年記念事業に臨む意気込みを、実行委員長の菅野事務局長と副委員長の播摩教授にお聞きしました。



菅野事務局長(写真左)、播摩教授(同右)

「開学50年の中間点として」

菅野事務局長：記念事業といっても、25周年を祝うだけが目的ではないんだ。開学50年に向けての折り返し地点として、國學院短期大学開学時の原点を思い出し、今の短大に足りないものを補強し、良いものを更に伸ばしていきたいんだ。

國學院精神を忘れないでいくため、より一層発展し続けるため、「総決起」を呼ぶイベントをするつもりはない。

菅野事務局長：「日本の文化を継承し、日本人の本(もと)つ心を究明する」。國學院大學が建学より125年間貫いてきた精神だよ。日本の文化や伝統、日本人としてのアイデンティティを何より大切に、継承していきたい。

播摩教授：日本は近代になってから、古き良き物を捨ててきた。長い伝統の中で、時間をかけ、培い、積み重ねてきた自国の文化、精神、匠の技などを「お金にならない」と捨ててきた。カタチのあるものはかりに価値を与えてきた。本当に価値があるのはカタチのないもの。昔は全ての日本人が持っていたものなんだ。

菅野事務局長：日本人には誇るべき精神があるんだ。それは、目上の人を敬う心、我慢する心、人の痛みが分かる心。しかし、そういった繊細で純粋な心が今の日本人には欠けているように感じる。例えば、「お年寄りに席を譲る」「授業の最初に礼をする」。なぜそれをする必要があるのか分かっていない人が多いと常々感じてしまっている。もちろん、原因は若い人たちだけにあるわけじゃない。地域社会がそれを継承してきていないんじゃないかな。

菅野事務局長：現代教育は人の先に出る方法論ばかり教えてきてしまった。自分の利益にならないことは何一つしない日本人が増えてきてしまったんだ。「教養総合」では日本人として知ってほしい「礼儀」や「謙虚さ」を教えた。人格や洗練された所作を、様々な職業ジャンルの中で活躍する講師の先生の話から、学び取ってほしい。

「たきかわステイ」

菅野事務局長：学生にとって充実した、

るためには、日本人本来の心を思い出すことが有効なはずだ。今こそ、「私達「國學院」という教育機関が、日本人として何が尊いのかを外に向けて発信したい。それが世の中のためになると私達は考えているんだよ。

「國學院教育」

播摩教授：國學院の教育の理想はこれからの日本を担う人材の育成なんだよ。自分自身を高めようとする、社会に役立とうとする精神をもった学生を育成していきたい。何よりも自信を持って卒業して欲しい。

そして、社会人として通用する素養を身につけてもらうための試みが、一昨年から開講されている「教養総合」だよ。

菅野事務局長：現代教育は人の先に出る方法論ばかり教えてきてしまった。自分の利益にならないことは何一つしない日本人が増えてきてしまったんだ。「教養総合」では日本人として知ってほしい「礼儀」や「謙虚さ」を教えた。人格や洗練された所作を、様々な職業ジャンルの中で活躍する講師の先生の話から、学び取ってほしい。

■25周年記念事業

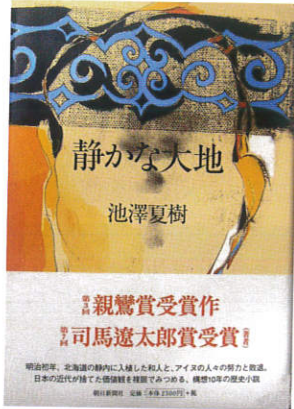
- 6/16～24 源氏物語絵巻物展 } 紀伊國屋書店札幌本店2F
- 6/17 公開古典講座 }
- 6/25～7/1 日本のまなざし(絵巻物)展 } 國學院短期大学
- 6/29 大蔵流狂言・雅楽・日舞公演 }
- 10/13 25周年記念式典 }
- パークゴルフ場「万葉コース」オープン(平成20年春本格利用開始)
- 25周年記念同窓会……札幌

「担当：門田樹、平本光」

出刃

小松山 博

離農した貧しい男の怒りと哀しみ、絶望感を追求した作品。主人公のモデルは作者。どん底の男が、貧しさ、容貌など本来持っているコンプレックスや行き場のないやりきれなさを生きる力に変えていく。主人公がラストシーンで研ぐ「出刃」には、力強い精神性が象徴されている。第75回・芥川賞候補作品。



静かな大地

池澤 夏樹

明治初年に静内^{しずない}に入植した和人とアイヌの人々の努力と敗退を描いた作品。「アイヌ・モ・シリ (人間の静かな大地)」と呼ばれた北海道に、かつて素晴らしい民族が存在し、その文化が繁栄していたこと、そしてそれが次々と失われていく姿を複眼で見つめる構想10年の歴史小説。近代の日本が捨てた価値観を見つめ直すきっかけになるのでは。北海道出身の作者が初めて本格的に北海道を舞台にした小説。

空色・水曜日

谷村 志穂

作者が生まれ育った北海道の思い出やお気に入りの場所を綴ったエッセイ集。故郷北海道を案内する私的ガイドブックのような1冊。この本を片手に北海道散策に出かけたら、たくさんの素敵な発見ができるのでは？



くらしの詩(うた)をつづって

一道新生活面「いずみ」筆者113人の作品集

北海道新聞朝刊の女性専用投稿欄「いずみ」は、掲載を始めて今年で51年。読んで共感しながら、ふと考える、そんな「いずみ」への掲載作品を中心に、書き下ろしも加えまとめた心温まる作品集。楽しいこと、悲しいこと、家族のこと、思い出など、113人の日々感じたことが綴られている。

北海道が生んだ文学



春には大自然の中で新たな命が芽吹き、夏には太陽が美しい花々に照り返る、秋には山々の紅葉と共に美しい作物が実り、冬には雪が舞い流水が流れ着く。この北の大地は、季節ごとに、様々な表情を私たちに見せてくれます。そんな北海道は豊かな自然やおいしい食物だけではなく、たくさんの方々の文学を生み出してきました。今回は紀伊國屋書店札幌本店の平岡さんと近藤さんのご協力をいただき、北海道が舞台の文学作品をご紹介します。



雪の断章

佐々木 丸美

悲劇を乗り越え愛に生きる、孤児の飛鳥(あすか)の運命や心の成長を描いた名作。「物語の舞台は大通り公園や道庁赤レンガなど、私たちにも身近な場所。その情景を思い浮かべながら読み進めることができます」と語る平岡さんが、入社当時に読まれたというイチオシの作品。この作品は「孤児シリーズ」4部作の1つで、他に、断崖の館で生まれるファンタジック・ミステリー「館シリーズ」3部作などもある。ファンから多数のリクエストがあり、2006年12月に復刊。



シャトウーン ヒグマの森

増田 俊成

「シャトウーン」とは、冬眠できずに食料を求め雪の中を徘徊する熊のこと。天塩(てしお)郡幌延(ほろのべ)町の実在する北大研究林で、孤立した小屋を350kgを越す巨大ヒグマが襲うという、まれにみるアニマル・サスペンス。移動手段も連絡手段もない、ろくな武器もない人間たちが、次から次へと危機に見舞われる。第5回「このミステリーがすごい！」大賞優秀賞受賞作。



凍れるいのち

川嶋 康男

北海道学芸大学函館分校山岳部のパーティー11名は、冬山合宿に大雪山縦走を目指したが、部員10名全員が遭難、死亡。北海道山岳史上最悪の事故だった。唯一生還したリーダーの野呂幸司が45年の沈黙を破り、ついに遭難事故の真相を語るノンフィクション作品。平和な生活の中で忘れてしまいがちな命の尊さ・重さを伝える。

Club Caty Tokyo

歴史と伝統ある 図書館が 生まれ変わるとき

—國學院大學図書館紹介—

インタビュー：

総合情報センター事務部 メディア管理課 課長 古山 悟^{のりゆき}氏



現在の國學院大學図書館の歴史

昭和30年代、学生の増加とともに創立80周年事業として図書館を建て替えました。

図書館の受付カウンターの前に外国人の方の写真が飾ってあるのに気がつきましたか。戦後アメリカの教育使節団が大学と大学図書館の改革を推進しました。その一環として、この図書館の建て替えに携わったロックフェラー財団の当時の人文科学部長のファーズさんこそ、この写真の人物なのです。國學院大學はロックフェラー財団からファーズさんを通じて資金援助を受け、エアシユーターや今も使われている書庫のリフトを備えるなど、当時東京にある図書館のなかでも特に素晴らしい図書館を完成させました。今の國學院大學の図書館にとって、ファーズさん

はなくてはならない人でした。そこで大学としては、名誉博士号の第一号を授けるとともに、図書館に写真を飾ること、ファーズさんに敬意を表しているのです。ファーズさんには、國學院大學の図書館のほかに、日本文化研究所の設立にも尽力いただきました。ファーズさんは大学の図書館だけでなく、戦前の帝国図書館（現・国立国会図書館）をアメリカの中央国立図書館である議会図書

館と同じような組織構造に改変し、資料提供にも尽力されました。議会図書館というのは、連邦議会に付随する機関で、資料収集だけでなく、連邦議会の議員が議案を提出するための手助けや研究資料の収集も行ないます。国の中央図書館であるというだけのフランスやイギリスの国立中央図書館とはこの点が大きく違った機能を持っています。現在の日本の国立国会図書館はアメリカの議会図書館と同様に、唯一の国の中央図書館でありながら、国会の付随図書館でもありません。中には調査立法考査局や国会議員の個人的な閲覧室もあります。

このように國學院大學の図書館は、戦後の国立国会図書館改変とともに、ファーズさんの尽力と、ロックフェラー財団による資金援助によって建て替えが敢行されました。

図書館の新築に伴って、そのシステムも大きく変化しました。コンピュータ大学の図書館学校に留学していた前島重方先生が、新しい図書館の完成とともに國學院大學に戻られ、図書館システムの改革を進められました。それまでの図書館は閲覧スペースと書庫スペースのみで、開架図書はほとんどなく、書籍や資料は

がんばれ滝川市民2！～躍進滝川太鼓保存会を知ろう～



滝川市には様々な市民団体があります。中学校や高校の部活動とは異なり、学生をはじめ、一般企業関係者、公務員など幅広い職業や年齢の方々の集まりです。一つの目標に向かって、同じ時間を共有して日々活動しています。

今回は、その中から「躍進滝川太鼓保存会」を紹介します。

躍進滝川太鼓保存会の歴史・活動は？

昭和43年、郷土芸能と青少年健全育成を掲げ少年部会員6名で躍進滝川太鼓保存会を創立させました。

翌年の昭和44年から、地元のイベント・道内の各祭りに参加・テレビ番組に出演など、積極的に演奏活動を続けてきました。

平成15年には滝川文化センターで、躍進滝川太鼓保存会35周年記念演奏会を行うことができました。

現在は3歳から50代の幅広い年齢層の会員が約40名在籍し、週2回の練習で技術の向上を計り、空知太鼓連盟、(財)日本太鼓連盟北海道道西支部、各地区盆踊り大会など数多くのイベントや施設慰問の活動を行っています。

・主な活動履歴・

- 平成14年～ (財)日本太鼓連盟北海道道西支部ジュニア太鼓コンクールに連続出場
- 15年 躍進滝川太鼓保存会35周年記念演奏会(滝川市)ジュニア太鼓フェスin登別にゲスト出演(登別市)
- 16・17年 北海道太鼓フェスティバルin栗山(栗山町)
- 17年 三井グリーンランドイベントにて演奏(岩見沢市)第1回たきかわ夏まつり～5感～(滝川市)第2回ラウネ川ミントチ祭り(滝川市)

副会長 林 敬雅さんにお話を伺いました。

—この団体の特徴は？

とにかく楽しく、そして楽しさの中で伝統芸能の中として

太鼓を残していけたら良いなと思っています。年代間の中でも、大きい子が小さい子を教えたりと、コミュニケーションを大切にしています。

—太鼓を始めようとしたきっかけは？

小さい頃に盆踊りを見に行ったときに、盆踊りよりもその太鼓に惹かれて、自分でもやってみたくなりました。小学校5年生のときから始めたので、もう20数年も続いています。

—太鼓の楽しさは？

やっぱり、音ですね。打ったら体にずしんと来る感じがどうしても忘れられません。今ですと、いろんな子どもたちと一緒に楽しくしていることですね。

—今の目標は？

もっと子供たち、特に今は中学生が少ないので中学生に太鼓の楽しさを伝えたいです。そして、滝川にずっと残していけるようなチーム作りをしたいです。

既存の曲を使用する時もありますが、作曲や振り付けを手掛けることもあるそうです。

盆踊りやお祭りには太鼓があるからこそ、より栄えるものだと思います。

時代の移り変わりにより叩く太鼓から、見せる太鼓へと変化していく中で、あの胸に響く音を日本の伝統芸能としていつまでも後世に伝えていきたいものです。



すべて書庫に収蔵されてきました。また、辞書や参考文献目録などの参考図書（レファレンスブック）が少なかつたため、図書館の職員が長年の知識と経験で話している前近代的スタイルを取っていました。しかし、前島先生の助言によって、レファレンスブックや基本的な図書は、閲覧室に開架しようということになりました。これは、当時の大学図書館としては大変進歩的なことでした。また、カード目録の並べ方をとつても、ほかの大学が日本人の著者であってもアルファベット順を採用しているにもかかわらず、國學院大学の図書館では日本人著者は50音順で並べるといふこだわりを持っていました。

このように國學院大学の図書館は、歴史と伝統のある施設ですが、このほど渋谷の再開発に伴って「学術メディアセンター（AMC・アカデミックメディアセンター）」を造ることにになりました。新しくなるその主な施設は次の通りです。

- ①考古学資料館
- ②神道資料館
- ③日本文化研究所
- ④コンピュータ自習室を含めた情報センター
- ⑤COEで養った若手研究者を中心として、蓄積された業績を研究・発信する研究開発推進機構

「お金があっても伝統がなければ伝えられない」

膨大な図書を収容するような大学図書館はいくつもありますが、長い時間をかけて歴史的に貴重な図書を集め保存していくことは伝統がなければ出来ないことです。

もうひとつは、ピンポイントの良い本を持つていないことではないでしょうか。たとえば「奈良絵本」など、系統的にたくさん持っているわけではありませんが、価値のある貴重な書物を多数揃えています。

貴重書に関しては、購入する本は教授が決めることが多く、年間に10点くらいを購入しています。限られた予算の中で貴重書・専門書・そして学生ニーズに合った本を揃えるのはなかなか難しいですね。

貴重書を見る時のポイントは何ですか？

それができた時代背景です。古典では、原本が残っていることはまずあり得ません。残されているのは写本がほとんどです。ここで問題なのが、写本（書き写す）する人が、写し違いや、自分の好きなように記述内容を変えてしまうことがあることです。これによって、ひとつの原本から複数の系統の写本が生まれてくるというわけでは

- ⑥国際会議のできる会議場
- ⑦学生の憩いの場となるラウンジ

AMCが完成すると、図書館のシステムにもまた大きな変化が生じます。現在の開架図書は5万冊前後ですが、その数が大幅に増えておよそ30万冊になります。法学・経済学の本だけでも約1万3000冊あったものが、完成後は5万冊程度開架する予定です。もう「探している本がない。」という声は聞かれなくなると思っています。そのほかにも、地下2階に100万冊分の自動書庫を設置します。これほどの規模は日本初と言えるでしょう。人を介させずに、書庫から自由に本を取り出せるようになるのです。

また、貴重な資料を展示するための常設スペースも設けられます。現物に触れられる機会が多くなるというわけですね。

國學院大学の図書館の特長は何ですか？

ひとつは、大学の規模に比して蔵書の数が多いことですね。うちの大学は4学部約1万人の学生しかいないにもかかわらず、140万冊近くの蔵書があります。人文社会学系の大学で、ここまでの蔵書量を持つていては、大学は、おそらくほかにはあまりないでしょう。

ね。その系統の違いに気がつく、面白いと思います。

また、「源氏物語」は文章の中心自体は非常にありふれたものですが、文章よりも絵に価値があるのです。

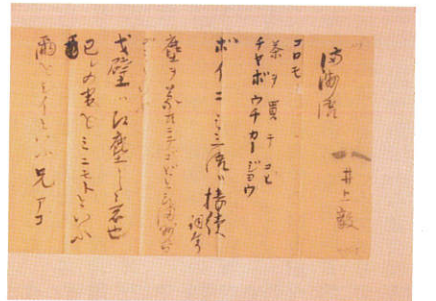
一方、江戸時代の書物に関しては、書き込みが研究対象となっています。例えば、有名な国学者の持つていた一般的な活字の本にどのような書き込みがされているか、その本の内容をどのように解釈していたかがわかります。それによって思想の研究をするといった具合です。

大逆事件で有名な幸徳秋水の書き込みがある本や、哲学者の三木清のサイン本が一般の図書の中に潜んでいるというのもこの大学ならではのところですね。言わなければ誰が書き込んだかは分かりませんが、そのような図書もこの書庫にはたくさん眠っているのです。

電話等の通信機器の普及で書簡が減少したことによって、思考過程を知ることができるようになりました。今またワープロの普及によって、原稿の校正過程を記した資料がほとんど残されないという現状があります。本やその人物の思想の完成までの過程を解明するのに役立つ資料の減少が危惧されています。

学生へのメッセージをお願いします。

國學院にせっかく入学したのだから



書庫は温度15~20℃、湿度30~50%に保たれている。



梧陰文庫
明治の政治家であり、内閣法制局長官、文部大臣を務めた井上毅は教育勅語、大日本帝国憲法、皇室典範等の起草に携わった。梧陰文庫は井上が当時政府に雇われていた外国人の法律草案者の意見書をまとめたものや実際の草案が含まれる。これには井上自身の書き込みがされており、研究材料として貴重な資料である。個人文庫ということで当図書館が保管している。近世文書は整理をする際にその時々担当する先生が異なるので、体系が崩され復元することは困難であるが、この梧陰文庫に関しては井上自身の整理のまま崩されていないので、当時のままの体系が手に取れることから大変な貴重書である。

女子皇族の即位により、皇位が女系に移ることを危惧し、井上は「皇室典範草案」で男系皇族のみの皇位継承を起草した。

カンパセレス

カンパセレス（1735-1824）は、ナポレオン一世の法律顧問であり、ナポレオン法典編纂を任された人物である。フランスの近代法体制の確立という点においてナポレオン体制の実態が映し出されているこの資料は、ヨーロッパの近代の社会法に影響を及ぼしたことも垣間見ら

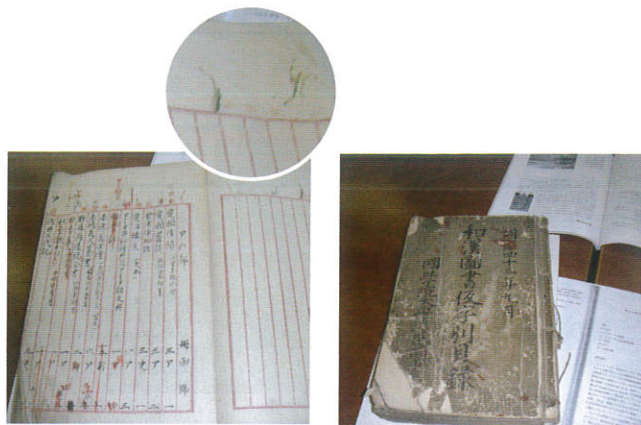
れることからその価値の高さが伺える。この資料はその後、時価4000万円ほどの高値がつき、時のフランス政府も手が出せなかったという話も残されている。日本では明治初期、諸法典の作成時に資料として研究され影響を及ぼした。

源氏物語五拾四帖巻

（真塗銀金歌書筆筒入）

貴重な源氏物語の書はいくつかある。絵巻は五島美術館、徳川美術館に保管されているものが国宝として認定されている。本図書館にあるものは久我家の娘が江戸時代（寛文年間頃）、伊達家に嫁いだ折に持たされた嫁入り道具としての本であり、研究材料ではないがその造りは豪華そのもので文化的価値が強いといえよう。公家の家から大名家に嫁ぐとき、また大名家から大名家に嫁ぐときなどに、みな一様に源氏物語を嫁入り道具としていたことから当時の風習が偲ばれる。





傷のように見えるのは「虫食い」。虫にとつては和紙が一番おいしらしい。昔の本には防虫のためにイチヨウの葉が挟まれていた。奈良の正倉院展は、一般公開と銘打っているが、実は虫干しの意味もある。

図書目録
和紙は丈夫で、丸まってももとに戻る。西洋でも貴重書の修理に和紙が使われるほど。
明治35、39年の火事で焼失したのも多い中、明治43年の一番古い図書目録。この後、目録は冊子からカードへ。

版木と日本書紀
慶長年間、秀吉が朝鮮出兵した際に銅で作った活字を朝鮮から持ち帰った。日本書紀の最初の活字本はこの銅の活字で刷られたものである。しかし、活字での印刷は手間がかかるため普及せず、次に登場したのが版木である。この版木はひとつ彫ってしまえば容易に大量印刷・出版が出来るということ、その後明治15年頃に西洋から活字が入ってきて、いま私たちが見るような活字が普及するまで、広く用いられた。



熊野の参詣曼茶羅
建物の有無から、この曼茶羅がいつ描かれたものなのか、その年代順を知ることが出来る。

竹取物語の巻物
巻物は開くたびに痛むと言われている。というのも、巻きなおす度に摩擦が生じるためである。特に絵の部分はそれが顕著に現れる。例えば竹取物語は計三巻あるが、閲覧者が一般的に最も見たがるのは、かぐや姫が月に帰る場面であるため、三巻目ばかりが痛んでしまう。

担当：島添美智子 榎戸奈津紀

國學院大學の図書館にしかない貴重書 (3点)

※國學院大學の図書館では、元禄までを貴重書と指定している。

- 梧陰文庫
- 源氏物語の写本
- 令義解の写本

國學院大學の図書館が所蔵する重要文化財 (5点)

- 久我家文書 約2800点
- 國學院大學本 神皇正統記 三冊
- 二度本 金葉和歌集 二帖
- 令義解 一卷
- 朝野群載 一卷
- 梁塵秘抄口伝集第十残巻 一卷

このような貴重書は、國學院大學の図書館のホームページ内の「デジタルライブラリ」(<http://k-aiser.kokugakuin.ac.jp/digital/diglib.html>) から誰でも見る事が出来ます。皆さんも是非覗いてみてください。

現在の図書館施設

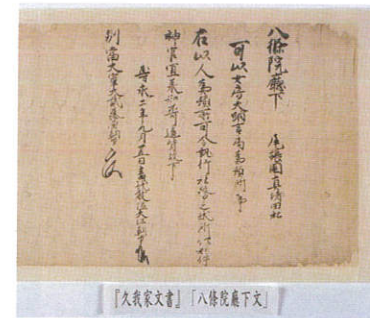
- 第一閲覧室 宗教・言語・文学・民俗学
- 第二閲覧室 社会科学・自然科学・工業・美術・芸術
- 第三閲覧室 総記・歴史・地理

ら、現物、そのもの自体をぜひ見て欲しいですね。ほかでは、貴重書だったり複雑な手続きを取らないと閲覧できない資料でも、ここの図書館では普通の一般図書と同じように見ることが出来ます。貴重書にしても、研究の目的さえはつきり提示してもらえれば、積極的に見せてくれます。

また、図書館の職員は図書に関して学生から聞かれるのが好きな人たちばかりです。困ったことがあったら何でも聞いてください。試験に必要な資料だって、1週間前に来てくれれば、3日前にはすべて揃えておきますよ。



図書館外観



久我家文書「八條院蔵下文」



貴重書庫内の様子

久我家文書
平安時代から明治時代に及ぶ久我家に伝わった公家文書である。明治15年に皇典講究所(現在の國學院大學の母体)創立の折に久我建通氏が副総裁となったことや、その孫も本学で学んだことから戦後一括して寄贈されるに至った。現在は2800点程の公家文書のうち2461点が国の指定する重要文化財となっている。久我家の活動や領荘園の目録など中世の歴史を知る上で貴重な書である。体系的にまとめられた形で保管されているのは久我家文書と九条家文書の2点だけである。

発行： 國學院短期大学
〒073-0014 北海道滝川市文京町3丁目1番1号
TEL：0125-23-4111

北海道・滝川市
〒073-8686 北海道滝川市大町1丁目2番5号
滝川市役所 総務部企画課
TEL：0125-23-1234

制作： キャレンハウス
村井 弘
(國學院短期大学兼任講師 『北海道CATY』編集・制作室長、キャレンハウス代表)

編集： 『北海道CATY』編集・制作室

國學院短期大学学生スタッフ
櫻庭 章浩 (コミュニケーション学科2年)
門田 樹 (コミュニケーション学科2年)
西村 信太郎 (コミュニケーション学科2年)
澤村 美菜 (コミュニケーション学科2年)
伊集院 久智 (コミュニケーション学科2年)
平本 光 (コミュニケーション学科2年)
鈴木 里実 (コミュニケーション学科1年)
鈴木 望 (コミュニケーション学科1年)
笠原 智代 (コミュニケーション学科1年)
遠山 佳苗 (国文学科2年)
浦島 奈都美 (国文学科2年)
後藤 文昭 (国文学科1年)
小畑 智未 (国文学科1年)

インターンシップ生
鈴木 健太郎 (コミュニケーション学科2年)
川崎 那々子 (コミュニケーション学科2年)
高橋 志尚 (国文学科2年)
岡田 久未子 (国文学科2年)
藤森 智子 (国文学科2年)
板井 寛幸 (国文学科1年)
岡本 麻依 (国文学科1年)
大丸 直輝 (国文学科1年)

顧問： 渡辺 俊一 (國學院短期大学産学連携教育研究所長)
牧野 多聞 (國學院短期大学コミュニケーション学科長)
播摩 光寿 (國學院短期大学国文学科教授)
黒阪 陽一 (國學院短期大学幼児・児童教育学科長)
野崎 剛毅 (國學院短期大学幼児・児童教育学科専任講師)

編集協力： 鏡 敏弘 (北海道滝川市総務部企画課長・國學院短期大学担当)

短大担当： 平野 富康 (國學院短期大学事務局次長・入試広報室長)
葦嶋 久美子 (國學院短期大学コミュニティカレッジセンター課長補佐)
栗林 広子 (國學院短期大学コミュニティカレッジセンター)

首都圏事務局： 新川 嘉代子 (キャレンハウス)

【CLUB CATY TOKYO (CCT)】

協力： 國學院大學総合企画部広報課
國學院大學総合学生センター事務部学生課
國學院大學院友会

(CLUB CATY TOKYO編集チーム)

編集： 島添 美智子 國學院大學文学部哲学科3年 (國學院短期大学卒)
榎戸 奈津紀 國學院大學法学部法律学科3年 (國學院短期大学卒)

CCTメンバー (國學院短期大学卒)

学生代表： 黒澤 良雄 國學院大學経済学部 経済ネットワーク学科3年
長谷川 雄一 國學院大學経済学部 経済ネットワーク学科3年
岸根 眞一郎 國學院大學経済学部 経済ネットワーク学科3年
榎戸 奈津紀 法学部法律学科3年
島添 美智子 文学部哲学科3年
清水 雄紀 法学部法律学科3年
濱地 倫子 経済学部経済学科3年

サポーター： 井上 智子 國學院短期大学入学アドバイザー (國學院大學文学部卒)
北田 美和子 國學院短期大学入学アドバイザー (國學院大學文学部卒)

アンケートにお答えください

アンケートにお答えくださった方の中から抽選で、粗品を差し上げます。
住所・氏名・年齢・職業を明記の上、下記宛先までお送りください。

アンケート

- ①「北海道CATY (キャティ)」をどこで知りましたか？
- ②今号で面白かったもの。(いくつでも)
- ③今号で面白くなかったもの。(いくつでも)
- ④取り上げて欲しい企画
- ⑤「北海道CATY」へのご意見、ご要望など。

宛先

〒073-0014
北海道滝川市文京町3丁目1番1号
國學院短期大学 北海道CATY編集・制作室
アンケート係
e-mail caty@kokugakuin.jp
締切り 平成19年6月30日

※応募にあたりご記入いただいた個人情報(住所・氏名・年齢・職業)は粗品の発送、及び國學院短期大学からのご案内の発送などに使用します。

CaCiCo~Campus and City mini Communication~
2号発行



CaCiCo-カシコー 2号 (2006年12月発行)

昨年、北海道CATYの姉妹紙として小さなCATY『CaCiCo』を発行しています。滝川市内に約1000部配布しています。より地域に密着した情報を掲載していますので、是非ご覧ください。

デザイン： 藤井 達也 (fujiidesign)
印刷： 三巧印刷
協力： 滝川市の皆様
紀伊屋書店
制作に携わっていただいた関係者の皆様

主な配布先： (道内)
北海道滝川市内、近隣4市5町市役所・町役場他
紀伊屋書店札幌本店、札幌オーロラタウン店、札幌ロフト店、厚別店、小樽店、千歳店 (6店)
(道外)
國學院大學渋谷キャンパス、たまプラーザキャンパス、國學院大學院友会本部
紀伊屋書店新宿本店、横浜店 他
(その他)
本学学生の出身高等学校へ送付しています。

発行部数： 15,000部

就職活動奮闘中のあなたに贈る
第1回 CLUB CATY TOKYO 就活生応援セミナー
~人生を豊かにする「感謝の心」と「人間力」~

2007年3月6日(火)國學院大学1号館1206教室において、『第1回 CLUB CATY TOKYO 就活生応援セミナー』が開催されました。

これまで勉強会は週1回のペースで開いていましたが、セミナーとしての開催は今回が初めての試みです。その様子をお伝えします。

この日は、井上電気株式会社取締役社長の井上吏司氏と、株式会社ザメディアジョン代表取締役の山近善幸氏を講師に迎え、「社会人として大切なこと」をテーマにそれぞれご講演いただきました。

井上社長には、「人に感謝の気持ちを伝えることの大切さ」をテーマにお話しいただき、講演の中では、両親への手紙を書くために参加者全員用のはがきを用意していただきました。山近社長には、「人間力強化の10カ条」と題して、「ビジネスの場で必要な「人間力(人柄十力)」をご指導いただきました。

参加した学生から終了後に回収させていただいたアンケートには、「今は忙しい時期だけれど、参加してよかった。」「もっと詳しいこともお二人から聞きたかった。」などと、セミナーがたいへん有意義であったという感想と共に、3分の1の方から「次回も参加したい。」との嬉しい声が寄せられました。

講演いただいた井上社長と山近社長、並びにこの講演会開催にあたり多大なるご尽力をいただきました、井上電気株式会社の石丸総務部長に厚く御礼申し上げます。

また、CCT発足当初からご支援下さいました國學院短期大学学長・國學院大學常務理事の蛭原弘学長先生にも深く感謝申し上げます。

なお、今回のセミナーに際して、機会を作っていただいた國學院大学の浜田順一総合企画部長、会場の手配をお願いした、大学のOGでもある同総務部人事課の北林朋子氏、集客の難しさに腐心していた際、学内の電子掲示板「K-SMAPY」を通じて広報支援いただいた同就職部就職課の前田浩司課長補佐、事前打ち合わせにご協力いただいた院友会館事務局の皆さまにも絶大なご支援をいただきました。関係者の皆さまには、本誌面をお借りして心より御礼申し上げます。本当に有難うございました。

【CCTイベント担当学生スタッフ】

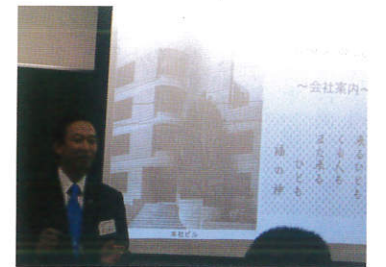
- 黒澤 良雄
- 長谷川 雄一
- 岸根 眞一郎
- 榎戸 奈津紀
- 島添 美智子
- 清水 雄紀
- 濱地 倫子



準備段階から当日まで応援に駆け付けていただいた國學院短期大学コミュニケーション学科長の牧野多聞教授に感謝!



蛭原学長



井上社長



山近社長



会場風景



黒澤CCT学生代表 (國學院大學経済学部3年)

北海道

CATY
カティ

2007
SPRING

No.11

國學院短期大学と
北海道・滝川市との
コミュニケーション誌

